



## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	那賀・海部川森林計画区（なかがいふがわ） （徳島県）	事業実施主体	四国森林管理局 徳島森林管理署												
事業の概要・目的	<p>那賀・海部川森林計画区は、徳島県南部に所在する4,457haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>2 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>134 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.4 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	2 (ha)		保育面積	134 (ha)	路網整備	開設延長	2.0 (km)		改良延長	0.4 (km)
森林整備	更新面積	2 (ha)													
	保育面積	134 (ha)													
路網整備	開設延長	2.0 (km)													
	改良延長	0.4 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	186,158千円													
	総便益（B）	1,853千円													
		578千円													
		89千円													
		193,171千円													
		61,880千円													
	計	257,571千円													
	分析結果（B / C）	1.38													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	中予山岳森林計画区（ちゅうよさんがく） （愛媛県）	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署												
事業の概要・目的	<p>中予山岳森林計画区は、愛媛県中央部に所在する13,036haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>118 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,061 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>5.4 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>3.4 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	118 (ha)		保育面積	1,061 (ha)	路網整備	開設延長	5.4 (km)		改良延長	3.4 (km)
森林整備	更新面積	118 (ha)													
	保育面積	1,061 (ha)													
路網整備	開設延長	5.4 (km)													
	改良延長	3.4 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	677,496千円													
	総便益（B）	174,595千円													
		81,818千円													
		23,066千円													
		938,462千円													
		126,322千円													
	計	1,344,263千円													
	分析結果（B/C）	1.98													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	嶺北森林計画区（れいほく） （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 嶺北森林管理署												
事業の概要・目的	<p>嶺北森林計画区は、高知県北部に所在する22,933haの国有林野を対象としている。          当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。          本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>150 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,474 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>11.2 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>24.3 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	150 (ha)		保育面積	2,474 (ha)	路網整備	開設延長	11.2 (km)		改良延長	24.3 (km)
森林整備	更新面積	150 (ha)													
	保育面積	2,474 (ha)													
路網整備	開設延長	11.2 (km)													
	改良延長	24.3 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	977,892千円													
	総便益（B）	288,239千円													
		2,748,309千円													
	水源かん養便益	288,239千円													
	山地保全便益	62,944千円													
	環境保全便益	19,062千円													
	木材生産便益	2,073,149千円													
	森林整備経費縮減等便益	304,915千円													
	計	2,748,309千円													
	分析結果（B/C）	2.81													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

国有林森林整備事業の事前評価の費用対効果集計表

森林管理署	徳島
森林計画区	那賀・海部川
事業名	森林環境保全整備事業

効果測定項目	評価内容	便益額 B (評価額)			備 考
		(千円)			
		森林整備計	路網整備計	計	
水源かん養便益	洪水防止便益	985		985	
	流域貯水便益	476		476	
	水質浄化便益	392		392	
国土保全便益	土砂流出防止便益	578		578	
	土砂崩壊防止便益			0	
環境保全便益	炭素固定便益	89		89	
林業生産便益	木材生産等経費縮減便益		87,372	87,372	
	木材利用増進便益		3,034	3,034	
	木材生産便益(森林整備分)	155		155	
	木材生産便益(路網整備分)		102,610	102,610	
森林整備経費縮減等便益	歩行時間等経費縮減便益		16,027	16,027	
	作業道作設経費縮減便益		22,148	22,148	
	治山経費縮減便益		22,443	22,443	
	森林管理等経費縮減便益		1,262	1,262	
総便益額 ( B )		2,675	254,896	257,571	
総費用額 ( C )		1,829	184,329	186,158	
費用対効果分析 ( B ) / ( C ) =				1.38	

注) 1  に適宜入力する。

2 ( B ) / ( C ) 1.0 であれば, 社会経済的に評価でき, 実行可能性があることを意味する。

国有林森林整備事業の事前評価の費用対効果集計表

森林管理署	愛媛
森林計画区	中予山岳
事業名	森林環境保全整備事業

効果測定項目	評価内容	便益額 B (評価額)			備 考
		(千円)			
		森林整備計	路網整備計	計	
水源かん養便益	洪水防止便益	92,201	3,115	95,316	
	流域貯水便益	33,222	788	34,010	
	水質浄化便益	44,220	1,049	45,269	
国土保全便益	土砂流出防止便益	77,267	4,530	81,797	
	土砂崩壊防止便益		21	21	
環境保全便益	炭素固定便益	22,360	706	23,066	
林業生産便益	木材生産等経費縮減便益		522,990	522,990	
	木材利用増進便益		31,659	31,659	
	木材生産便益(森林整備分)	69,091		69,091	
	木材生産便益(路網整備分)		314,722	314,722	
森林整備経費縮減等便益	歩行時間等経費縮減便益		28,708	28,708	
	作業道作設経費縮減便益		60,019	60,019	
	治山経費縮減便益		33,726	33,726	
	森林管理等経費縮減便益		3,869	3,869	
総便益額 ( B )		338,361	1,005,902	1,344,263	
総費用額 ( C )		179,217	498,279	677,496	
費用対効果分析 ( B ) / ( C ) =				1.98	

注) 1  に適宜入力する。

2 ( B ) / ( C ) 1.0 であれば, 社会経済的に評価でき, 実行可能性があることを意味する。

国有林森林整備事業の事前評価の費用対効果集計表

森林管理署	嶺北
森林計画区	嶺北
事業名	森林環境保全整備事業

効果測定項目	評価内容	便益額 B (評価額)			備 考
		森林整備計	路網整備計	(千円) 計	
水源かん養便益	洪水防止便益	159,222	228	159,450	
	流域貯水便益	56,363	79	56,442	
	水質浄化便益	72,242	105	72,347	
国土保全便益	土砂流出防止便益	62,611	331	62,942	
	土砂崩壊防止便益		2	2	
環境保全便益	炭素固定便益	18,961	101	19,062	
林業生産便益	木材生産等経費縮減便益		1,010,170	1,010,170	
	木材利用増進便益		50,970	50,970	
	木材生産便益(森林整備分)	57,585		57,585	
	木材生産便益(路網整備分)		954,424	954,424	
森林整備経費縮減等便益	歩行時間等経費縮減便益		134,485	134,485	
	作業道作設経費縮減便益		124,027	124,027	
	治山経費縮減便益		36,868	36,868	
	森林管理等経費縮減便益		9,535	9,535	
総便益額 ( B )		426,984	2,321,325	2,748,309	
総費用額 ( C )		221,483	756,409	977,892	
費用対効果分析 ( B ) / ( C ) =				2.81	

注) 1  に適宜入力する。

2 ( B ) / ( C ) 1.0 であれば, 社会経済的に評価でき, 実行可能性があることを意味する。